

新産業振興課
直 通：092-643-3445
内 線：3776
担 当：金川、境野

(株)QPS 研究所が服部知事と香原県議会議長を訪問します ～衛星コンステレーション構築の早期実現に向け、新研究開発拠点を本格稼働！～

本県は、令和2年9月、国から「宇宙ビジネス創出推進自治体」※¹に選定され、あわせて産学官からなる「福岡県宇宙ビジネス研究会」※²を発足、宇宙ビジネスの普及啓発・参入促進に取り組んでいます。

2月25日（火）に、九州大学発の宇宙スタートアップである(株)QPS 研究所(福岡市)が来庁し、服部知事と香原議長に、昨年11月に稼働開始した研究開発拠点が3月から本格稼働し、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の「宇宙戦略基金」に本県で初めて採択されるなど、研究開発体制の一層の拡充が図られ、量産体制が整うことによる衛星コンステレーション※³構築の早期実現に向けた取り組みを報告します。

- 1 日 時：令和7年2月25日（火）14：00～14：30
- 2 場 所：特別会議室（県庁行政棟8階）
- 3 訪問者：(株)QPS 研究所 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔（おおにし しゅんすけ）氏
取締役兼営業本部長 松本 崇良（まつもと たかよし）氏
- 4 対応者：福岡県知事 服部 誠太郎
福岡県議会議長 香原 勝司
- 5 内 容：
 - ① 来訪者紹介
 - ② 大西代表取締役社長 CEO からの報告
 - ③ 服部知事・香原議長挨拶
 - ④ 懇談
 - ⑤ 記念撮影

※終了後、特別会議室で(株)QPS 研究所が取材に応じます。

◎ 株式会社 QPS 研究所

小型 SAR※⁴衛星開発の分野で世界をリードする九州大学発の宇宙スタートアップで、最終的に小型 SAR 衛星36機による衛星コンステレーション構築を通じて、世界中のほぼどこでも任意の場所を平均10分間隔で観測できる「準リアルタイムデータ提供サービス」の実現を目指しており、令和5年12月には東京証券取引所グロース市場へ上場しました。

なお、同社の大西社長は、3月3日（月）に開催する「福岡県宇宙ビジネスフォーラム」にも登壇し、宇宙ビジネスの最前線で活躍する同社の取り組みを紹介します。

※1～4については 2ページ目参照

※1 宇宙ビジネス創出推進自治体

概 要：内閣府と経済産業省が、「宇宙」をキーワードに新産業・サービス創出に関心を持つ企業・個人・団体等が参加できるネットワーキング組織「S-NET」を創設。その活動の一環として、衛星データ等を活用した宇宙ビジネスの創出を主体的・積極的に推進する自治体を「宇宙ビジネス創出推進自治体（S-NET 推進自治体）」として選定。

選定自治体：11 道県 2 市の計 13 自治体 ※令和 7 年 1 月末時点

※2 福岡県宇宙ビジネス研究会

概 要：本県の宇宙ビジネス振興の中核となる産学官プラットフォーム

設 立：令和 2 年 9 月

会員数：361 会員（企業、団体、個人含む） ※令和 7 年 1 月末時点

※3 衛星コンステレーション： 多数の小型の人工衛星を連携させ、一体的に運用する仕組み。

※4 SAR（合成開口レーダー）： 電波を使用して地表の画像を得るレーダー。
雲や噴煙を透過し、昼夜を問わず観測できることが特長。

1 株式会社QPS研究所について

- ・所在地
福岡県福岡市中央区天神1丁目15-35
- ・代表者
代表取締役社長 CEO 大西 俊輔
- ・事業



光学衛星で観測できない環境（曇りや夜）でも観測可能な小型レーダー衛星（小型 SAR 衛星）を開発。最終的には 36 機の衛星コンステレーションを構築し、世界のほぼどこでも準リアルタイムで観測できるサービス提供を目指す。昨年 8 月には、小型 SAR 衛星 8 号機「アマテル IV」を打上げ、9 月に画像取得に成功。

2 新研究開発拠点（Q-SIP（キューシップ））の概要

- ・従来工場の約 10 倍の面積(4,500 m²)となり、これまで年間 4 機にとどまっていた小型 SAR 衛星の製造が最大 10 機まで可能となる。
- ・拠点内には、製造関連装置や試験機器、クリーンルームなどをワンフロアに設置している。
- ・昨年 11 月に 1 期工事竣工、部分稼働開始に続き、2 期工事を終えて 3 月から本格稼働となる。

※セキュリティ上の面から QPS 研究所は公式ウェブサイト等で Q-SIP の住所を公開致しません。
場所を明記する際には「福岡県福岡市近郊」に留めていただくようお願いします。

3 宇宙戦略基金について

- ・内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省が JAXA に基金を造成し、JAXA を通じて民間企業や大学の宇宙分野の先端技術開発、技術実証、商業化を支援。
- ・株式会社QPS 研究所は、宇宙戦略基金の技術開発テーマ「商業衛星コンステレーション構築加速化（経済産業省）」の採択を受け、衛星コンステレーション構築の早期実現を目指す。

4 「福岡県宇宙ビジネスフォーラム」の開催

- ・日時 令和 7 年 3 月 3 日（月）13:30～18:15（13:00 開場）
- ・場所 明治安田ホール福岡（福岡市博多区中洲 5 丁目 6-20）
- ・内容
 - （1）主催者挨拶（13:30～13:40）
 - （2）基調講演（13:40～14:10）
「宇宙産業の新時代：民間の力で広がる無限のチャンス」
アクシオム・スペース 若田 光一 氏
 - （3）トークセッション第一部（14:20～15:00）
「LIFE in SPACE：宇宙で進むライフスタイル革命」
株式会社ポーラ 田村 明子 氏
キューピー株式会社 渡辺 聡人 氏
ミサワホーム株式会社 秋元 茂 氏
 - （4）JAXA の取組紹介（15:10～15:40）
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA） 内木 悟 氏

(5) トークセッション第二部 (15:50～16:30)

「人工衛星が拓くデータ活用の新時代」

株式会社 QPS 研究所 大西 俊輔 氏

株式会社 アークエッジ・スペース 福代 孝良 氏

三菱電機株式会社 中野 陽介 氏

(6) 交流会 (16:45～18:15)

5 県の QPS 研究所に対する支援

○「先導的 Ruby ソフトウェア開発支援事業補助金」による支援 (平成 26 年度)

- ・ Ruby や mruby (軽量 Ruby) を活用して新分野展開等を目指す福岡県内企業のソフトウェア開発に対して交付する補助金
- ・ 軽量 Ruby を活用して、人工衛星本体に組み込まれる、衛星の姿勢制御やデータ取得などの管理システムを開発

※本県発のプログラミング言語「mruby (軽量 Ruby)」は、開発効率が高く、トライアル&エラーしやすい特徴があり、複雑なシステム開発の期間短縮に貢献

※当該システムで、平成 30 年度フクオカ Ruby 大賞を獲得

○ 衛星打上げの際のパブリックビューイングの開催

- ・ 初号機「イザナギ」では、県庁 1 階ロビーで関係者及び県民約 500 名が参加。
(令和元年 12 月 11 日)
- ・ 2 号機「イザナミ」では、オンラインで約 800 名がリアルタイム視聴。
(令和 3 年 1 月 24 日)
- ・ 3、4 号機「アマテル I、II」では、福岡銀行本店広場で関係者及び県民約 300 名が参加。
(令和 4 年 10 月 12 日)
- ・ 6 号機「アマテル III」では、オンラインで約 300 名がリアルタイム視聴。
(令和 5 年 6 月 13 日)